

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室

TEL：03-5253-8111 内線42353

アドレス：<http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成21年5月13日

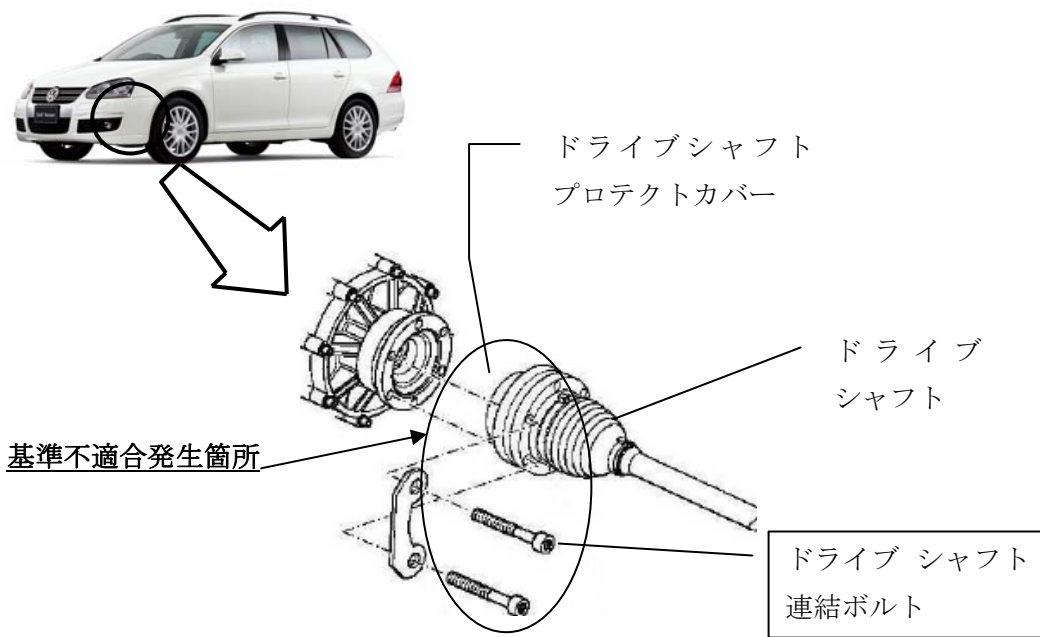
リコール届出番号	外-1576	リコール開始日	平成21年5月14日	
届出者の氏名又は名称	フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社 代表取締役 ゲラシモス・ドリザス	製作国：ドイツ連邦共和国 製作者名：フォルクスワーゲン株式会社 問い合わせ先：フォルクスワーゲン カスタマー センター (通話無料) 0120-993-199 (アドレス) http://www.volkswagen.co.jp/		
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置(ドライブシャフト)			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ドライブシャフトにおいて、プロテクトカバーの塗装が不適切なため、製造時にプロテクトカバーが正しく組み付けられておらず、ドライブシャフト連結ボルトの締め付けトルクが規定トルクを下回るものがある。そのため、そのまま使用すると、当該ボルトが緩み異音が発生し、最悪の場合、当該ボルトが脱落し、走行不能になるおそれがある。			
改善措置の内容	全車両、ドライブシャフトの形状を確認し、対象となるものはボルトの緩みを点検し、緩んでいる場合は当該シャフトの全ボルトを新品と交換する。また、緩んでいない場合は、規定トルクまで増し締めする。			
不具合件数	65件	事故の有無	なし	
発見の動機	市場からの情報による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・対策実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に外-1576ステッカーを貼付する。 			

車名	型式	通称名	リコール対象車両の車台番号(シリアル番号)の範囲及び輸入期間	リコール対象車両の台数	備考
フォルクスワーゲン	不明	VW ゴルフヴァリアント 1.4-125kw	WVWZZZ1KZ8M301387～WVWZZZ1KZ8M301982 平成19年6月11日～平成19年6月19日	5	
		VW ゴルフヴァリアント 2.0T	WVWZZZ1KZ8M255884～WVWZZZ1KZ8M303194 平成19年6月11日～平成20年10月23日	5	
	GH-1KAXX	VW ジェッタ 2.0T	WVWZZZ1KZ6M628939～WVWZZZ1KZ7M202028 平成17年10月17日～平成19年8月9日	2,641	
	ABA-1KAXX	VW ジェッタ 2.0T	WVWZZZ1KZ6M703778～WVWZZZ1KZ8M194793 平成19年7月23日～平成20年10月23日	659	
		VW ゴルフヴァリアント 2.0T	WVWZZZ1KZ8M250062～WVWZZZ1KZ9M307361 平成19年6月4日～平成21年1月15日	4,238	
	ABA-1KBLG	VW ジェッタ 1.4-125kw	WVWZZZ1KZ8M002179～WVWZZZ1KZ8M199137 平成19年7月23日～平成20年11月13日	1,354	
VW ゴルフヴァリアント 1.4-125kw		WVWZZZ1KZ8M250032～WVWZZZ1KZ8M369969 平成19年6月4日～平成20年11月13日	5,482		

車名	型式	通称名	リコール対象車両の車台番号(シリアル番号)の範囲及び輸入期間	リコール対象車両の台数	備考
	ABA-1KCAV	VW ゴルフヴァリアント 1.4-118kw	WVWZZZ1KZ9M295917～WVWZZZ1KZ9M321749 平成20年12月15日～平成21年3月23日	380	
	ABA-1KCAW	VW ゴルフヴァリアント 2.0T	WVWZZZ1KZ9M308278～WVWZZZ1KZ9M308840 平成21年1月15日～平成21年1月15日	2	
	ABA-1KCAX	VW ゴルフヴァリアント 1.4-90kw	WVWZZZ1KZ9M295811～WVWZZZ1KZ9M327357 平成20年12月15日～平成21年3月23日	524	
	(計7型式)	(計6車種)	輸入期間の範囲 平成17年10月17日～平成21年3月23日	15,290	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

ドライブシャフトにおいて、プロテクトカバーの塗装が不適切なため、製造時にプロテクトカバーが正しく組み付けられておらず、ドライブシャフト連結ボルトの締め付けトルクが規定トルクを下回るものがある。そのため、そのまま使用すると、当該ボルトが緩み異音が発生し、最悪の場合、当該ボルトが脱落し、走行不能になるおそれがある。

改善内容

全車両、ドライブシャフトの形状を確認し、対象となるものはボルトの緩みを点検し、緩んでいる場合は当該シャフトの全ボルトを新品と交換する。また、緩んでいない場合は、規定トルクまで増し締めする。

識別：キャンペーンステッカーに「40J1、日付（西暦・月・日の順）、ワークショップスタンプ」を記入し、スペアタイヤ収納部左側面に貼りつける。

